



第72回日本皮膚科学会中部支部学術大会
イブニングセミナー1

2021.11.20(土)
18:05-19:05

現地開催とWEB配信によるハイブリッド開催

A会場 | 奈良県コンベンションセンター 1F
コンベンションホールA

〒630-8013 奈良県奈良市三条大路1-691-1

疼痛関連のエビデンスと

薬剤性腎障害の基礎知識

プロフェッショナルに聞く！ 帯状疱疹治療の 薬剤選択

講演
1

帯状疱疹治療術 ～年間1,000例の治療経験より～

座長 安元ひふ科クリニック 院長 **安元 慎一郎** 先生

演者 高木皮膚科診療所 院長 **高橋 英俊** 先生

講演
2

薬剤性腎障害への対処法 ～皮膚科領域薬剤を中心に～

座長 山梨大学医学部 皮膚科学教室 教授 **川村 龍吉** 先生

演者 筑波大学医学医療系 腎臓内科学 教授 **山縣 邦弘** 先生

第72回日本皮膚科学会中部支部学術大会は現地とLive配信どちらからでもご聴講いただけるハイブリッド開催となりました。COVID-19流行状況により変更になる可能性がありますので、最新情報を下記WEBサイトよりご確認ください。

第72回日本皮膚科学会
中部支部学術大会WEBサイト <https://cjda72.jp>



本セミナー・ご講演に関するお願い

本セミナー・講演中の録音、録画、カメラ撮影、スクリーンショットはご遠慮ください。また、不正に撮影された写真等をインターネット(Twitter等)にアップロードすることも禁止させていただきます。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



講演
1

帯状疱疹治療術 ～年間1,000例の治療経験より～

高木皮膚科診療所 院長 **高橋 英俊** 先生

帯状疱疹の治療時は、急性期痛やPHNなどの痛みに対して有効な薬剤を選択する必要がある。PHNに対する最新のエビデンスとしては、2021年1月に発表された「アメナメビル治療が帯状疱疹関連痛および帯状疱疹後神経痛に及ぼす影響の検討—753例を対象とした治療6カ月後での中間報告—¹⁾(以下、PHN中間報告)」があり、アメナリーフ錠のPHNに及ぼす影響が報告されている。

本講演では、最新のエビデンスであるアメナリーフ錠のPHN中間報告と当院における帯状疱疹患者、年間1,000例をもとに帯状疱疹の薬物治療について紹介する。



1985年 旭川医科大学 卒業
1989年 旭川医科大学大学院 卒業
米国オレゴンヘルスサイエンス大学 リサーチフェロー
1990年 旭川医科大学皮膚科 助手
1992年 名寄市立病院皮膚科 医長
1993年 旭川医科大学皮膚科 助手
1996年 旭川医科大学皮膚科 講師
2014年 高木皮膚科診療所 院長

1)川島眞ら:日皮会誌,131(1),49,(2021)

講演
2

薬剤性腎障害への対処法 ～皮膚科領域薬剤を中心に～

筑波大学医学医療系 腎臓内科学 教授 **山縣 邦弘** 先生

加齢とともに生活習慣病を原因とする慢性腎臓病で腎機能の低下した患者が著増している。腎臓は薬剤の主要排泄ならびに代謝臓器であり、腎臓への負担を配慮した薬剤選択は、日常診療において疾患を問わず重要視されつつある。

帯状疱疹は高齢者に多い疾患であり、腎臓への負担を配慮した薬剤の選択を考慮すべきであり、抗ヘルペスウイルス薬や鎮痛薬(NSAIDs)、プレガバリンなど、腎機能によって、投与量、投与方法の選択が必要である。高齢者に限らず薬剤性腎障害や腎機能障害のための薬剤血中濃度上昇に伴う副作用出現のリスクは少なからず存在する。

本講演では、薬剤性腎障害診療ガイドラインの内容をベースに、帯状疱疹やその他皮膚科領域で使用する薬剤による薬剤性腎障害のリスクや対策について概説する予定である。



1984年 筑波大学医学専門学群 卒業
筑波大学附属病院 見学生
筑波大学附属病院 医員(研修医)
1986年 筑波大学附属病院 医員
1990年 株式会社日立製作所日立総合病院 腎臓内科 医師
同 腎臓内科 医長
1994年 同 腎臓内科 主任医長
1999年 筑波大学 臨床医学系内科 講師
2001年 同 内科助教授(血液浄化療法部)

この間、2001年8月より2002年8月まで、アメリカ合衆国、University of Oregon, Institute of Molecular Biologyにてresearch Associateとして研究に従事。

2004年 筑波大学大学院人間総合科学研究科臨床医学系腎臓内科助教授
2006年 筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻
腎臓病態医学分野教授
2011年 (組織改編)筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学教授
2014年 筑波大学医学医療系臨床医学域長
2016年 筑波大学附属病院副病院長(総務・教育担当)
2018年 筑波大学附属病院副病院長(総務・医療安全担当)